

研究課題「高齢者施設入居者における外因死発生についての法医学記録を用いた記述研究」
について

岡山大学学術研究院医歯薬学域 法医学分野では、筑波大学ヘルスサービス開発研究センターとの共同研究として、標題の臨床研究を実施しております。本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

現在国家的課題となっている高齢者虐待、高齢者孤独死並びに外因死等の人の死にまつわる社会的諸問題の実態とその背景要因を、剖検記録の分析を通して明確化し、得られた成果をもとに医療福祉政策提言を行います。

② 研究対象者

岡山大学法医学分野において法医解剖が施された事例のうち、高齢者施設内で外因死した事例。

③ 研究期間

倫理審査委員会承認後から2029年3月31日までを研究期間として計画しています。

情報の利用または提供開始予定日：研究機関の長の許可日から1週間後

④ 研究の方法・使用する情報の項目

法医解剖の事例から、死因・死亡状況・解剖所見・性別・年齢・既往歴・現病歴・ADLの範囲・介護の状況・社会資源サービス享受の有無等を抽出し、疫学的に分析します。

⑤ 個人情報の保護について

得られた情報は、個人が特定できるような情報、例えば氏名・住所・生年月日等の情報を削除するか別の無関係な記号や番号に置き換えて研究に利用されます。成果を発表する際にも個人が特定されることはありません。情報は研究者間でのみ利用し、第三者へ提供することはありません。

⑥ 情報の管理について責任を有する者

田宮菜奈子（筑波大学医学医療系ヘルスサービス開発研究センター長）

⑦ 本研究への参加を希望されない場合

ご遺族の本研究への参加を希望されず、情報の利用停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑧ 問い合わせ連絡先

岡山大学学術研究院医歯薬学域 法医学分野

氏名：宮石智

電話：086-235-7201（平日：10時～17時）

⑨ 情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 成瀬恵治